

令和6年4月17日

第127号



千葉県調理師会

(題字は臼井日出男氏書)

広報FAX通信

千葉市中央区富士見 2-3-1

千葉県調理師会広報委員会発行

TEL043-225-7736 FAX043-225-5995

ホームページアドレス: <http://chiba-cyourishik.sakura.ne.jp>

【今後の会議予定】

◇令和6年度県調理師会年間スケジュールは現時点での予定を県調理師会ホームページにて掲載しておりますのでご確認ください。

・令和6年度 第1回常任理事会・理事会

4月22日(月)に塚本ビル7階会議室に於いて令和6年度 第1回常任理事会・理事会を開催予定。定期総会議案の審議及び第62回千葉県調理師大会の企画、役員人事等について話し合いの予定。

・令和6年度 調理師会定期総会 及び

協力商社会定期総会

5月27日(月)調理師会総会 15:00～

同日 商社会総会 16:30～

懇親会 17:00～

会場:総会 京成ホテルマラーレ 8階オーキッドルーム

懇親会 同 16階スカイバンケット

・第7回調理師大会特別委員会(終了後、執行部会議)

今年度第1回目開催、調理師大会、料理コンクール

5月13日(月) 13:00～県調理師会事務局

・第8回調理師大会特別委員会

今後の調理師大会運営についての話し合いです。

6月10日(月)13:00～塚本大千葉ビル7F会議室

・第1回料理コンクール準備委員会(県出席)開催

6月10日(月)14:00～塚本大千葉ビル7F会議室

・第1回大会準備合同会議(県出席)開催

6月10日(月)15:00～塚本大千葉ビル7F会議室

◇第62回記念千葉県調理師大会

(第35回料理コンクール)

10月22日(火)開催予定(10/21前日準備)

会場:千葉市地方卸売市場(千葉市美浜区高浜)

・令和6年度千葉県調理師試験の詳細について

令和6年度の調理師試験の詳細については、4月2日(火)に県報および県ホームページにて発表されました。今回も願書配布は通常通り、願書受付は県庁または各保健所に郵送受付となります。試験は10月26日(土)に13:30からTKP ガーデンシティ千葉(千葉市中央区問屋町)にて開催の予定です。県調理師会ホームページからも試験概要を閲覧できます。

当会の「調理師試験準備講習会」は今年は通常開催で、講習会4会場、模擬試験2会場で実施。変更が生じた場合には、当会ホームページにてご案内しておりますので、ご確認くださいませようお願いいたします。

【令和6年度「千葉県調理師講習会」開催について】

「調理師による県民の食生活の向上に関する条例」施行と共なつてに開催の「千葉県調理師講習会」の令和5年度の受講者は新型コロナの影響もまだ残り228名でした。令和6年度は9回目の開催となりますが、現在、県行政と開催内容について協議を重ねており、条件が整い次第、契約に進みます。契約締結後は計画書を県に提出しますので、計画のある支部は期限(5/10)までに速やかにご提出ください。支部が取り組みやすく、受講生も参加しやすいように調整していく所存です。講師につきましては、各保健所や県栄養士会・協力商社会会員・県本部会員等にご協力をいただきながら進めて参ります。

また、「食と健康推進講習会」も引き続き開催しますので、計画のある支部は送付済みの計画書に記入の上、期限(5/10)までに必ずご提出下さい。

ご質問等ございましたら本部迄お知らせ下さい。

【県本部一般会計監査についてのご報告】

・4月15日(月)10時30分より当ビル7F会議室にて、県調理師会監事による令和5年度「県調理師一般会計」の監査がありました。監査は監事にて厳正に行われ、中村理事長・海部専務・萩原局長が立ち合いました。終了後、監事から「令和5年度は黒字経営で問題はないが、会員数も減少しているし、様々な問題が起こる可能性もある。組織とし収益をあげ安定した運営が出来るか協議が必要」とのお話しがあった。理事会・総会で報告予定。

【お願い】

各講習会や会議等を開催するにあたり、主催者・参加者共に、前年度に引き続き、以下の点にご注意ください。

「講習会を開催するにあたっての諸注意」

- ・熱のある方、咳の出る方、体調の悪い方の参加はご遠慮いただく。
- ・会場の換気に努める。
- ・参加者の間隔を空ける。
- ・手指の消毒剤の用意と会場の除菌をする。

「講習会に参加される方に」

- ・熱のある方、咳の出る方、体調の悪い方の参加はお控えください。
- ・念入りな手洗い・手指の消毒・マスクの装着に努める。

【あとかぎ】

令和6年度がスタートしました。新型コロナも第5類に移行し、ほぼ通常通りの生活が戻ってきました。世の中は歴史的な円安でインバウンドによる日本への観光客であふれ賑やかになる一方で、我々を取り巻く環境は、あらゆる商品等が値上りし、会員の皆様もやり繰りに頭を悩ませる毎日かと存じます。2024年物流問題も控えて、今後の動向に目を光らせる必要があるかと思ひます。 県本部